

「CKP2019 講演会」開催

コバルトコーヌス補綴の臨床応用について
約 50 名の歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士が議論

▶会場となった KEYSTONE CLUB 東京



2019 年 11 月 27 日（水）、KEYSTONE CLUB 東京（東京都港区）にて標記講演会が開催された（代表発起人：石濱 済美／石浜 歯科医院）。「CKP」はコバルト・コーヌス・パーティの略で、コーヌスクローネにコバルトクロム合金を用いる“コバルトコーヌス”を用いた補綴の臨床応用可能性について議論する場として、歯科医師、歯科技工士らを発起人に設立されたスタディグループで、定期的集まりのほか、季刊誌の発刊などを行っている。当日は約 50 名の歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士が集まり、コバルトコーヌス補綴の臨床応用について議論した。

臨床講演「私の経験したコーヌスクローネ義歯とコンプリートデンチャー治療」 緑野 智康氏（アス横浜歯科クリニック）

インプラントおよびコンプリートデ

ンチャーをそれぞれ用いたコバルトコーヌスの症例を供覧したあと、レジセメントの物理的・機械的性質と接着性に関する自身の研究を紹介、各社のレジセメントの摩耗量を低下させるための方法などについて説明した。

臨床講演「医は仁術なり 医は学問なり」 青木 学氏（ウェル西新宿デンタルクリニック）

自身が故・寺川國英先生（元・新宿アルプス歯科院長）の理念のもと学んだ内容を中心に講演、「治療計画とは、学問・学術を用いながら患者がより快適で豊かな生活・人生を送るために何が必要かを考えることです」と話し、歯科医師が医療者として日々いかに患者と向き合うかについて訴えた。

特別講演「医科医療の現場におけるコバルト合金の使用～医師の目を見たコバルト合金の歯科領域への可能性」

石濱洋美氏（獨協医科大学総合療養センター 教授）

医科領域におけるコバルトクロム合金（以下、Co-Cr 合金）の臨床応用事例を幅広く紹介したうえで、JSA (Japanese standard allergens) のこれまでの経緯を紹介。金属アレルギーに関する Co-Cr 合金へのイメージは JSA の初期の接触試験に影響されていて、「近年の検査結果ではそれほど高い陽性率ではない」との視点に加え、Co-Cr 合金には何らかの抗菌性があるという仮説に基づいた実験について講演した。石濱氏は現在、歯周病菌に関する培養実験も行なっており、今後の実験・研究の行方が待たれる。（編集部）

※なお、2020 年度の小誌別冊では CKP 各氏の編集・執筆のもと『コバルトコーヌス完全読本』（上下巻）を発刊予定で、石濱氏の実験結果に関する詳細についても論文執筆していただく予定です（編集部注）。



▲講演中の様子



▲プログラム後のパーティの様子